

シンポジウム

愛知ターゲットのいま ～世界はどこまで変わったのか

日時：2018年10月14日(日)13:30～17:00 参加費：無料

会場：愛知大学 講義棟 10階 1003教室 (あおなみ線ささしまライブ駅下車3分)

主催：公益財団法人 日本自然保護協会 共催：NPO 法人表浜ネットワーク

後援：愛知県 (申請中) IUCN 日本委員会 (申請中)

生物多様性条約 COP10 が名古屋市で開催されてから間もなく 8 年。
世界各国から愛知に集まった人々によって愛知ターゲットが採択され、
世界は 2020 年を目標に歩み続けてきました。

目標年まであとわずかとなった今年、
愛知ターゲットはどこまで進捗できているのでしょうか。

海は、愛知ターゲットでも大きな目標が掲げられてきたテーマです。
シンポジウムの後半では、愛知ターゲット 11 に関わる、
次世代に残したい海辺の姿について掘り下げます。

プログラム (予定)

- 基調講演 1_吉田正人 (筑波大学大学院教授/IUCN 前会長)
「愛知ターゲットのいま～世界はどこまで変わったのか」
- 報告_愛知県自然環境課
「愛知ターゲット、愛知県の進捗状況」
- 基調講演 2_清野聡子 (九州大学大学院准教授)
「海洋保護区の国内外での展開における愛知県の役割と可能性」
- 報告_田中雄二 (NPO 法人表浜ネットワーク)
「渥美半島の砂浜」
- パネルディスカッション「次世代に残したい自然とは」
コーディネイター：吉田正人



申し込み・お問い合わせ：umi@nacsj.or.jp 03-3553-4102 (日本自然保護協会)

資料準備のため、できるだけ事前にお申し込みをお願いいたします。①お名前 ②メールアドレスをお知らせください。